

## 新潟市の予防接種実施方法

新潟市の予防接種は、全て**委託医療機関での個別接種**です。接種日や接種時間などは、あらかじめ委託医療機関にお問い合わせください。なお、接種日に新潟市に住民登録（住民票）のある方が新潟市での定期予防接種の対象です。定期予防接種は**接種対象年齢内**であれば**接種費用は無料**です。

予防接種名	ワクチンの種類	望ましい接種年齢	接種対象年齢	接種間隔	備考	接種回数
ロタウイルス	経口生	【初回】 生後2か月～ 生後14週6日まで	生後6週から24週 (ロタリックスの場合)	27日以上の間隔をおいて2回 接種します。	経口投与（飲む）ワクチンです。 種類によって回数が違います。 出後14週6日までに初回接種 を完了しましょう。	2
			生後6週から32週 (ロタテックの場合)	27日以上の間隔をおいて3回 接種します。		3
B型肝炎	不活化	生後2か月～ 生後9か月まで	出生後から 1歳未満	27日以上の間隔で2回、さら に1回目の接種から139日経過 した後に1回接種します。		3
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	不活化	【初回】 生後2か月以上 7か月未満に開始 【追加】 初回終了後 7月～13月の間	生後2か月以上 5歳未満	【初回】 4～8週(27～56日)の間隔を おいて3回接種します。 【追加】 初回終了後、7月～13月の間 に1回接種します。	接種開始時期によって接種回 数が変わるので注意しましよ う(次ページ参照)。	4
小児用肺炎球菌	不活化	【初回】 生後2か月以上 7か月未満に開始 【追加】 生後12か月～ 15か月の間 (初回終了後60日 以上の間隔をおいて)	生後2か月以上 5歳未満	【初回】 27日以上の間隔をおいて3回 接種します。(1歳になるまで に初回3回を完了する) 【追加】 初回終了後60日以上の間隔 をおいて1歳以降に1回接種 します。(標準として生後12 か月～15か月の間)	接種開始時期によって接種回 数が変わるので注意しましよ う(次ページ参照)。	4
四種混合 DPT-IPV ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ	不活化	【1期初回】 生後3か月以上 1歳未満 【1期追加】 2歳半未満 (1期初回完了後 1年～1年半)	生後3か月以上 7歳半未満	【1期初回】 3～8週(20～56日)の間隔 をおいて3回接種します。 【1期追加】 1期初回終了後6か月以上の 間隔をおいて1回接種します。 (標準として1期初回終了後 1年～1年半)		4
			生後5か月以上 8か月未満	出生後から 1歳未満	1回接種します。	接種期間が短いので注意しま しょう。
麻しん風しん 混合ワクチン (MRワクチン)	生	【1期】 1歳以上 1歳3か月未満 【2期】 小学校就学前の 1年間	1歳以上2歳未満	麻しん風しん混合ワクチンを 1回接種します。	1歳以降なるべく早期に受け ましょう。	2
			5歳以上7歳未 満の者で、小学校 就学前の1年間 (いわゆる年長児)	麻しん風しん混合ワクチンを 1回接種します。	なるべく小学校入学前の「就 学時の健康診断」までに受け ましょう。	
水痘 (水ぼうそう)	生	【初回】 1歳～ 1歳3か月未満 【追加】 初回終了後6月 ～12月の間隔を おいて	1歳以上3歳未満	3月以上の間隔をおいて2回 接種します。	1歳以降なるべく早期に受け ましょう。	2
日本脳炎	不活化	【1期初回】3歳 【1期追加】4歳 【2期】9歳	生後6か月以上 7歳半未満	【1期初回】 1～4週(6～28日)の間隔を おいて2回接種します。 【1期追加】 1期初回終了後おおむね1年 おいて1回接種します。	3歳未満で接種する場合、接 種量が異なります。 	4
			9歳以上13歳未満	【2期】 1期終了後4～5年間隔で 1回追加接種します。		
			11歳	11歳以上13歳未満		
二種混合 DTP ジフテリア 破傷風	不活化	11歳	11歳以上13歳未満	1回接種します。		1
ヒトパピローマ ウイルス (HPV)	不活化	中学1年生の間	小学校6年生～ 高校1年生相当 の女子	1回目の1か月または2か月後に 2回目(サーバリックスの場合1か 月後、ガーダシルの場合2か月後)、 1回目の6か月後に3回目	ワクチンの種類により2回目 の接種間隔が異なります。 接種後30分は失神防止のため 安静にしていましよう。	3

上記は令和4年4月現在の情報です。最新の情報は、市ホームページをご覧ください。  
接種方法、接種時期については、かかりつけ医とご相談のうえ接種してください。



## 予防接種を受けましょう

お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力(免疫)は、生後数か月で自然に失われていくため、赤ちゃん自身で抵抗力(免疫)を作って病気を予防する必要があります。その助けとなるのが予防接種です。

予防接種を受けるには、病気ごとに接種に適した時期がありますので、かかりつけ医と相談しながら、計画的に接種しましょう。予防接種を受ける時期や間隔は、下図を参考にしてください。

## 予防接種のスケジュール

※日本小児科学会の推奨するスケジュールを参考にしています。

種類	ワクチン	種類	乳児											幼児期				小学生				中学生～								
			1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12~14 13か月	14~15 15か月	16~17 17か月	18~23 18~23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14~16 14~16歳
定期 接種	ロタウイルス	経口生	①	②※																										
	B型肝炎(HBV)	不活化	①	②				③																						
	ヒブ(インフルエンザ菌b型)	不活化	①	②	③								④																	
	小児用肺炎球菌	不活化	①	②	③							④																		
	四種混合(DPT-IPV)	不活化		①	②	③									④															
	BCG	生					①																							
	麻しん・風しん(MR)	生											①								※									
	水痘(水ぼうそう)	生											①		②															
	日本脳炎	不活化																①	②	③						④				
	二種混合(DT)	不活化																										①		
ヒトパピローマウイルス	不活化																											①	②	
任意 接種	おたふくかぜ	生											①								②									

□の期間は接種対象年齢です。それぞれの望ましい接種年齢を■で示してあります。

※長期にわたる重篤な疾患のために、定期接種を受けられなかったお子さんについて、特別措置が設けられています。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

## ヒブ(インフルエンザ菌b型) ワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種方法

### 【ヒブ(インフルエンザ菌b型) ワクチン】

接種開始年齢	初回接種	追加接種	接種回数
生後2か月以上 7か月未満	3回(4~8週間隔で接種)※ 1歳までに受けましょう	1回 (初回終了後7か月 ~13か月の間)	4回
生後7か月以上 12か月未満	2回(4~8週間隔で接種)※ 1歳までに受けましょう	1回 (初回終了後7か月 ~13か月の間)	3回
1歳以上5歳未満	1回		1回

※医師が必要と認めた場合は、3週間隔で接種可能。

### 【小児用肺炎球菌ワクチン】

接種開始年齢	初回接種	追加接種	接種回数
生後2か月以上 7か月未満	3回(27日以上の間隔) 1歳までに受けましょう	1回(生後12~15か月未満) (初回終了後60日 以上の間隔)	4回
生後7か月以上 12か月未満	2回(27日以上の間隔) 生後13か月までに受け ましょう	1回(1歳以降早めに) (初回終了後60日 以上の間隔)	3回
1歳以上2歳未満	2回(60日以上の間隔)		2回
2歳以上5歳未満	1回		1回

母子健康手帳は大切に  
保管しましょう。  
海外留学などで、予防  
接種の証明書(記録)と  
して必要になることが  
あります。



予防接種法に基づく予防接種  
は、市町村が実施することになっ  
ています。

接種日に新潟市に住民登録(住  
民票)のある方が対象です。

新潟市外へ転出(住民票を異動)  
した場合は、転出先の市町村で予  
防接種について聞きましょう。



## 異なる種類のワクチンを接種する場合の接種間隔



注射生ワクチン	
定期接種	MR (麻しん風しん混合) BCG 水痘 (水ぼうそう)
任意接種	おたふくかぜ

  

経口生ワクチン	
定期接種	ロタウイルス

  

不活化ワクチン	
定期接種	四種混合 (DPT-IPV) 二種混合 (DT) 日本脳炎 ヒブ (インフルエンザ菌b型) 小児用肺炎球菌 ヒトパピローマウイルス (HPV) B型肝炎
任意接種	インフルエンザ

接種した翌日から数えて  
27日以上あけましょう

制限はありません

制限はありません

制限はありません

### 次の予防接種

注射生ワクチン

経口生ワクチン  
・不活化ワクチン

注射生ワクチン

経口生ワクチン  
・不活化ワクチン

注射生ワクチン

経口生ワクチン  
・不活化ワクチン

## 病気が治ってから予防接種を受ける場合の接種間隔



病気の種類により、回復後、予防接種を受けるまでに一定の間隔が必要となる場合があります。下の説明を参照し、主治医に相談しましょう。

麻しん (はしか)
風しん、水痘 (水ぼうそう)、おたふくかぜ など重症感染症にかかった場合
突発性発疹、手足口病、ヘルパンギーナ、 伝染性紅斑、感染性胃腸炎、風邪など比較的 軽微に経過した感染症にかかった場合

治ってから  
4週間程度あけましょう

治ってから  
2～4週間程度あけましょう

治ってから  
1～2週間程度あけましょう

### 次の予防接種

生ワクチン

不活化ワクチン

## 予防接種に行く前に・・・

- ☆生後1か月の健診を受けたら、「かかりつけ医」を決めましょう。
- ☆お子さんの体調のよい時に受けましょう。
- ☆お子さんの日頃の状態をよく知っている保護者が同伴しましょう。
- ☆母子健康手帳に予防接種を受けた記録をしますので、忘れずに持って行きましょう。
- ☆予約する前に、対象年齢、接種間隔を確認しましょう。
- ☆副反応については「予防接種と子どもの健康」をお読みください。また、厚生労働省のホームページでも確認することができます。(「厚生労働省 予防接種情報」で検索)



新潟市  
食育・花育推進キャラクター  
まいちゃん

## 生後2か月の誕生日はワクチンデビュー！

予防接種の目的はワクチンで防げる病気の予防です。病気の予防に適切な時期に必要な予防接種を受けましょう。ワクチンの種類が増えているので、スタートは早めに！

「ロタウイルスワクチン」は生後6週から接種可能ですので、かかりつけ医に相談しましょう。